

前回協議会での意見に対する対応

番号	意見本文	対応(案)
1	道路整備と多核集約型都市構造との関係を反映した施策になっていないように感じる。道路整備も都市構造に対して重要な施策なので進めていくのだというような記述を検討してほしい。	目標 の取組の視点を修正し、「多核集約型コンパクトシティの形成に向けて、都心・中心市街地と地域中心を有機的に結びつける、移動しやすい道路網の整備を進め、」と修正しています。 <u>(戦略 P45)</u>
2	3環状放射型道路網についても、それを推進することを前提としている印象を受けるので、これから目指す都市構造に対してこの道路網が適しているという説明にすると分かりやすいのではないか。	
3	全体を通して人口減少、中でも少子化が大きな課題だと捉えている。可能であれば「安全安心な子育て環境の整備」といった少子化対策につながるような観点での取組を入れ込めたらよいと思う。	計画の目標設定の根拠として整理した社会情勢・環境変化から導き出された課題の中で、「高齢者をはじめとしたあらゆる世代」としていた部分を「高齢者や子育て世代などあらゆる世代」と改めるとともに、具体的な取組として、「交通安全教育事業」を位置づけました。 <u>(戦略 P44、P78)</u>
4	都市の課題の背景のところ、 <u>「高齢化」とあわせて「子育て関連」にも触れてみてはどうか。</u> イラストに追加するのは大変だと思うので、子育て関連の効果等を追加できるのであれば理解しやすい。	

前回協議会での意見に対する対応

番号	意見本文	対応(案)
5	<p>新たな道路をつくることも一つの大きな仕事だと思うが、既存道路の活用方法の視点はあるのか。中心市街地の一方通行は、ある時は双方向でバスも含めて乗用車も走っていた。今と比べると当時は歩道に人があふれていた。このようにぎわいの創出に新たなものをつくることは必要だが、既存の道路の活用も重要ではないか。</p>	<p>上位計画である総合都市計画においても、「居心地が良く歩きたくなる環境整備」として中心市街地における回遊性向上のイメージを記載しております。<u>(戦略 P23、ビジョン P27)</u> 今後、人の移動実態データが取得可能になっていることなどを踏まえ、道路交通のあり方等に対応してまいります。</p>
6	<p>タクシーを新たな公共交通の一つの大きな柱とすることはよいが、具体的な内容が見えない。以前から市民は便利さを求めてタクシーを利用してきた。記述には何ら新しいものはなく非常に残念に感じる。</p>	<p>具体的な取組として、買物タクシー等を記載しています。タクシー等小型車両を活用した新たな交通手段も含め、具体的な制度設計については、今後、関係者と協議し、検討してまいります。<u>(ビジョン P68)</u></p>
7	<p>P D C Aについても実施するだけでなく、可能であるならば具体的な時期を記載した方がよいと思うので検討していただきたい。</p>	<p>「計画年度中各年度末における取組の進捗状況を評価するほか、必要に応じて計画の見直しを行います。」と追記しました。<u>(戦略 P83、ビジョン P72)</u></p>